



平成 24 年 7 月号



概況

最近の県内経済は、個人消費の一部で上向きの動きがみられるほか、雇用面で改善の動きがうかがわれ、全体に緩やかな持ち直しの動きが続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は3ヶ月連続のプラスとなった。自動車販売は、登録車、届出車ともに大幅プラスとなり、全体では8ヶ月連続のプラスとなった。

住宅建設は持家、貸家、分譲住宅がそれぞれ増加し、全体では再びプラスに転じた。公共投資は独立行政法人等、市町村が増加したものの、国、県が減少し、6ヶ月ぶりのマイナスとなった。

生産関連の動きをみると、鉱工業生産指数は前月比1.0%上昇の109.0となった。一次産業関連をみると、23年県産リンゴ販売は前年に比べ県外出荷量が下回ったものの、消費地市場価格が大幅に上昇し、県外市場販売額は幾分上回った。八戸港水揚げは数量、金額とも大幅に増加した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.05ポイント上昇し、0.63倍となった。0.60倍を超えたのは約20年ぶりとなる。

個人消費 5月の**大型小売店販売額**は、前年同月比1.5%増(速報ベース、店舗調整後)と3ヶ月連続のプラスとなった。業態別では百貨店が同4.1%増と3ヶ月連続のプラス、スーパーは同0.7%増と8ヶ月連続のプラスとなった。5月の**自動車販売台数**は、登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比58.7%増と8ヶ月連続のプラスとなった。登録車が同45.9%増と9ヶ月連続、届出車は同73.2%増と8ヶ月連続のそれぞれ大幅プラスとなった。

住宅投資 5月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比22.5%増の485戸と再びプラスに転じた。持家が同14.8%増、貸家が同24.2%増、分譲住宅が同285.7%増となった。

公共投資 5月の**公共工事請負額**は全体では前年同月比17.2%減の99億800万円となり、6ヶ月ぶりのマイナスとなった。国が同61.0%減、県が同34.6%減となった。一方、独立行政法人等は同35.7%増、市町村は同47.0%増となった。

一次産業 青森県産業技術センター農林総合研究所の作況田(黒石、十和田)での**24年産水稲**の生育状況(6月30日現在)は、「つがるロマン」、「まっしぐら」とも平年に比べ草丈が短く、茎数が多く、葉齢はほぼ平年並みであった。5月の**23年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比35.1%減となったものの、消費地市場価格が同55.8%上昇の413円/kgとなり、県外市場販売額は同1.0%増となった。5月の**八戸港水揚げ**はイカ釣り漁の水揚げが大幅に増加し、数量が前年同月比38.5%増、金額は同49.6%増となった。

生産活動 4月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、前月比1.0%上昇の109.0となった。原指数では前年同月比34.2%上昇の104.3となった。一般機械、電気機械はこのところ海外経済減速の影響がうかがわれるものの、自動車関連などの需要増から増加基調にある。鉄鋼は海外需要を背景に持ち直しの動きが続いている。

一 次 産 業

米

水稻生育状況、草丈が短く、葉齢はほぼ平年並み

青森県産業技術センター農林総合研究所の作況田(黒石、十和田)での24年産水稻生育状況(6月30日現在)によると、黒石の「つがるロマン」は平年に比べ草丈が短く、茎数が大幅に多く、葉齢は幾分少なかった。一方、十和田の「まっしぐら」は平年に比べ草丈がやや短く、茎数がやや多く、葉齢は幾分多かった。6月20~28日の気象をみると、平均気温は黒石で平年比 1.0 の 17.5、十和田で同 1.9 の 15.4 となった。一方、日照時間は黒石で同 26.1%増の 63.3 時間、十和田で同 25.0%増の 54.0 時間といずれも平年を大幅に上回った。

県の農産園芸課によると、水稻生育の見通しは7月1日以降の気温が平年並みで推移した場合、幼穂形成期は「つがるロマン」が7月15~20日頃、「まっしぐら」が7月13~23日頃と予想される。

平成24年6月30日現在の水稻生育状況

場所	品種名	草丈(cm)				茎数(本/株)			
		本年	平年	平年差	前年	本年	平年	平年差	前年
黒石	つがるロマン	43.2	47.6	-4.4	45.4	35.6	27.2	+8.4	32.3
十和田	まっしぐら	48.7	51.5	-2.8	53.3	24.0	21.4	+2.6	23.0

場所	品種名	茎数(本/m ²)				葉齢(葉)			
		本年	平年	平年差	前年	本年	平年	平年差	前年
黒石	つがるロマン	755	576	+179	685	9.2	9.3	-0.1	9.2
十和田	まっしぐら	582	558	+24	559	9.2	9.0	+0.2	9.4

黒石は青森県産業技術センター農林総研水稻栽培部、十和田は同 藤坂稲作部の作況試験のデータ
 平年値は、黒石「つがるロマン」は前5ヶ年、十和田「まっしぐら」は前7ヶ年の平均値
 本年値は、6月29日の調査地を6月30日に換算

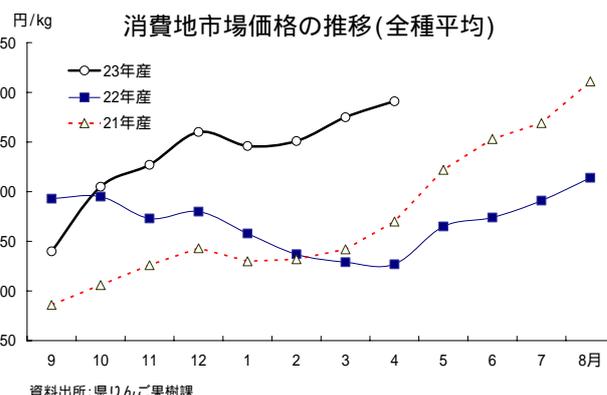
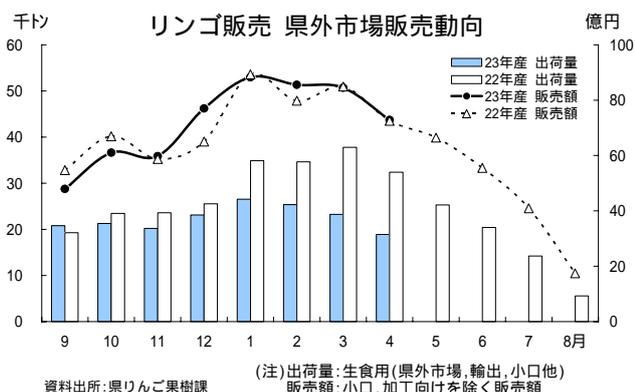
資料出所:地方独立行政法人 青森県産業技術センター農林総合研究所

りんご

消費地市場価格、5月としては24年ぶりに400円/kgを超える

23年県産りんご販売、5月の県外出荷量は前年同月比 35.1%減の 1万6,413 トンとなった。これは前3ヶ年の5月平均出荷量を 39.8%下回る水準である。消費地市場価格は「ふじ」が前年同月比 58.6%上昇の 425 円/kg、「王林」が同 51.9%上昇の 360 円/kg、ジョナゴールドが同 49.3%上昇の 409 円/kg となり、合計では前年同月比 55.8%上昇の 413 円/kg となった。5月の消費地市場価格が400円を超えたのは平成11年(10年産)以来24年ぶりとなる。この結果、出荷量が大幅に減少したものの、県外市場販売額は前年同月比 1.0%増の 67億1,300万円となった。

23年産県産りんご販売は、市場への入荷量が少なかったことに加え、有袋ものとしては食味が良好なこと、消費者の根強い需要があることなどから、記録的な高値で推移している。

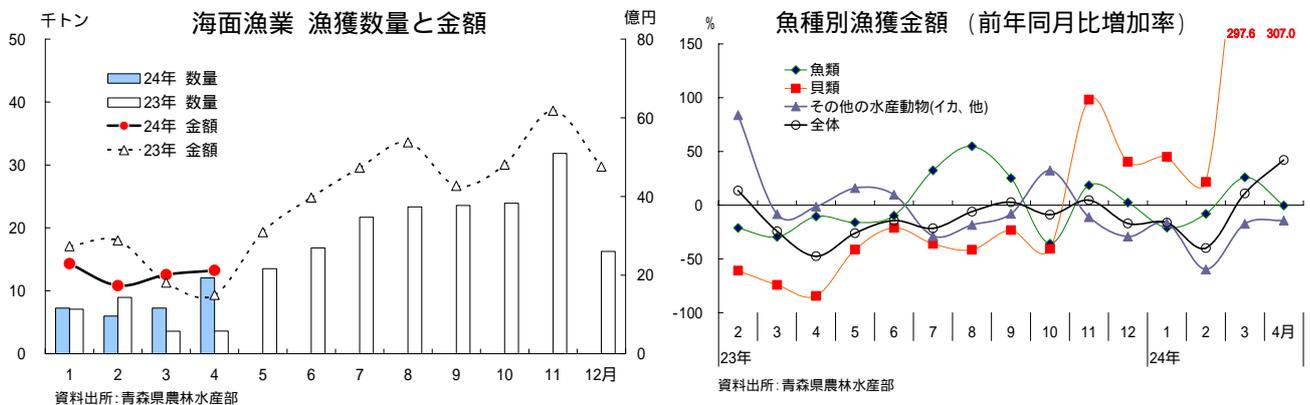


海面漁業

漁獲数量、金額とも増加、ホタテガイの水揚げが回復

4月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比234.9%増の1万2,054トン、漁獲金額は同42.0%増の21億2,226万円となった。

魚種別にみると、「魚類」はスケトウタラの水揚げが増加し、数量が同13.7%増の1,541トンとなったものの、金額は同0.3%減の5億4,880万円となった。「貝類」は高水温被害で激減したホタテガイの水揚げが大幅に回復し、数量が同581.8%増の9,473トン、金額が同307.0%増の9億5,696万円となり、全体を押し上げた。イカなどの「その他水産動物」はアカイカ(海外)、タコ、ウニなどの水揚げが増加し、数量が同17.0%増の9,399トンとなったものの、アカイカ、ナマコなどの魚価が落ち込み、金額は同14.2%減の6億42万円となった。



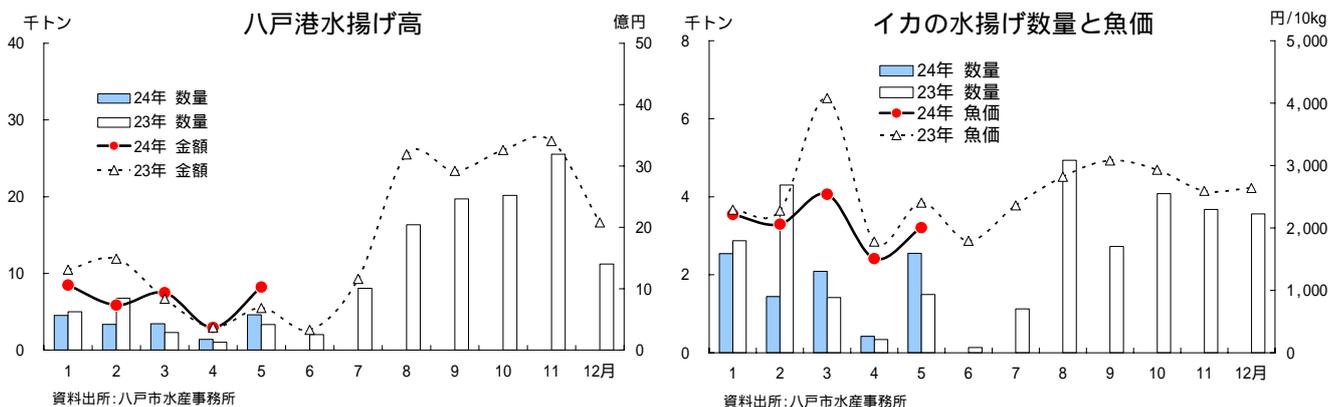
八戸港水揚げ

前年同月比、数量38.5%増、金額49.6%増

5月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比38.5%増の4,619トン、金額は同49.6%増の10億2,796万円となった。

イカ釣り漁は、数量が同70.7%増の2,550トン、金額が同42.3%増の5億1,128万円となった。平均単価は2,005円/10kgとなり同16.6%下落した。アメリカオオアカイカは数量が同約4.5倍、金額が同約3.5倍と大幅に増加したほか、ニュージーランドイカも前年を上回った。

機船底引網漁は、数量が同9.2%減の1,498トンとなったものの、スケトウタラの魚価が上昇したほか、魚価の高いエビ類の水揚げが好調だったことなどから、金額は同27.7%増の2億6,637万円となった。



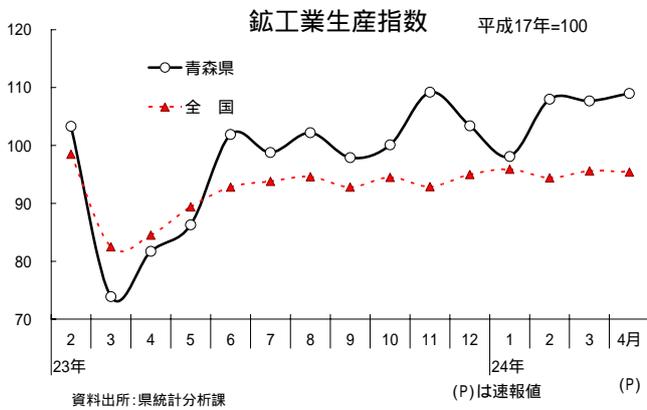
二 次 産 業

鉱工業生産

鉱工業生産指数、前月比 1.0%上昇の 109.0

4月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は、前月比1.0%上昇の109.0となった。主要6業種をみると、一般機械が同4.4%、鉄鋼が同4.4%、電気機械が同2.8%上昇した。一方、ウエイトの高い食料品は同8.0%、電子部品・デバイスは同6.6%、パルプ・紙は同4.0%それぞれ低下した。このほかでは化学が同232.4%、金属製品が同7.7%それぞれ上昇し、窯業・土石は同横バイとなった。原指数では震災による落ち込み(特に鉄鋼、パルプ・紙)の反動から、前年同月比34.2%上昇の104.3となった。

一般機械、電気機械はこのところ海外経済減速の影響がうかがわれるものの、自動車関連などの需要増から増加基調にある。鉄鋼は海外需要を背景に持ち直しの動きが続いている。



業種別生産指数(平成24年4月)

業 種 ()内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原 指 数	
	平成17年 =100	前月比 (%)	平成17年 =100	前年同月 比(%)
鉱 工 業 (10000.0)	109.0	1.0	104.3	34.2
食 料 品 (2249.0)	90.7	8.0	92.0	10.0
一 般 機 械 (1254.7)	147.8	4.4	136.5	7.6
電 子 部 品・デ バ イ ス (1106.8)	149.4	6.6	142.9	20.2
鉄 鋼 (1008.6)	97.0	4.4	99.5	677.3
パ ル プ・紙 (807.5)	94.8	4.0	94.5	632.6
電 気 機 械 (550.4)	112.4	2.8	95.7	24.4

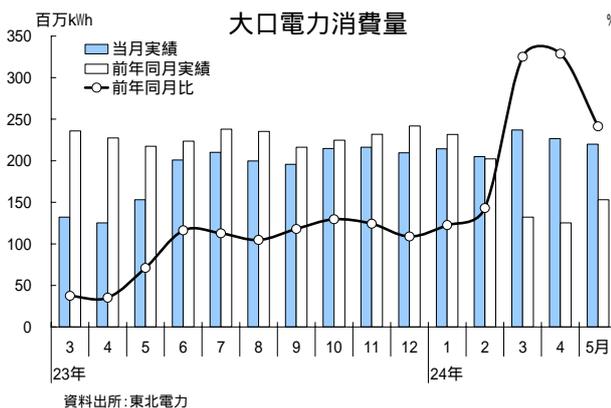
資料出所: 県統計分析課

大口電力

大口電力消費量、前年同月比大幅増、前々年比ではほぼ横バイ

5月の県内大口電力消費量は、前年同月比43.4%増の2億1,982万kWhとなり、4ヶ月連続のプラスとなった。うち製造業は同64.3%増の1億5,827万kWhとなった。製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウエイトの高い鉄鋼が同164.9%増、非鉄金属が同86.6%増とそれぞれ前年同月を大幅に上回ったほか、窯業・土石が同6.9%増、食料品が同2.8%増となった。一方、機械は同1.6%減、化学は同13.5%減、パルプ・紙は同42.2%減となった。

当月の県内大口電力消費量は、東日本大震災による落ち込みの反動などから前年同月比では大幅な増加となったが、前々年同月(22年5月)比でみると、県内大口電力消費量が1.0%増、うち製造業は0.7%減とほぼ横バイとなっている。

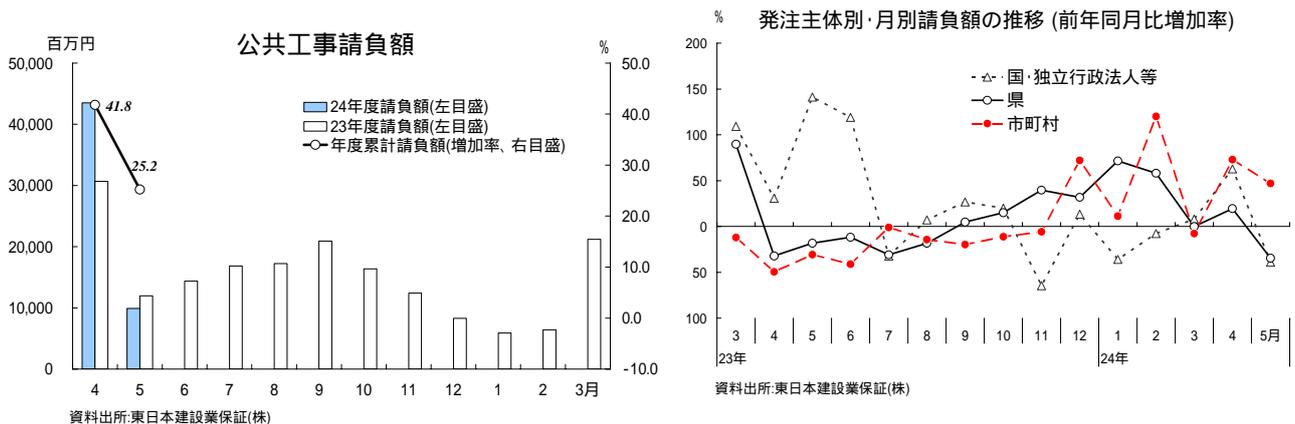


公共工事

公共工事請負額、6ヶ月ぶりのマイナス

5月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比17.2%減の99億800万円となり、6ヶ月ぶりのマイナスとなった。当月の請負額は、国が国土交通省の減少により同61.0%減の23億6,000万円、ウェイトの高い県が農林水産部関連などの減少により同34.6%減の15億9,800万円となった。一方、独立行政法人等は弘前大学、新幹線関連などの増加により同35.7%増の24億2,700万円、市町村が三戸町、東通村などの増加により同47.0%増の18億9,300万円となった。

県内の公共工事請負額は、このところ前年同月を上回って推移してきたが、当月は国関係の工事が約37億円減少し、全体を押し下げた。

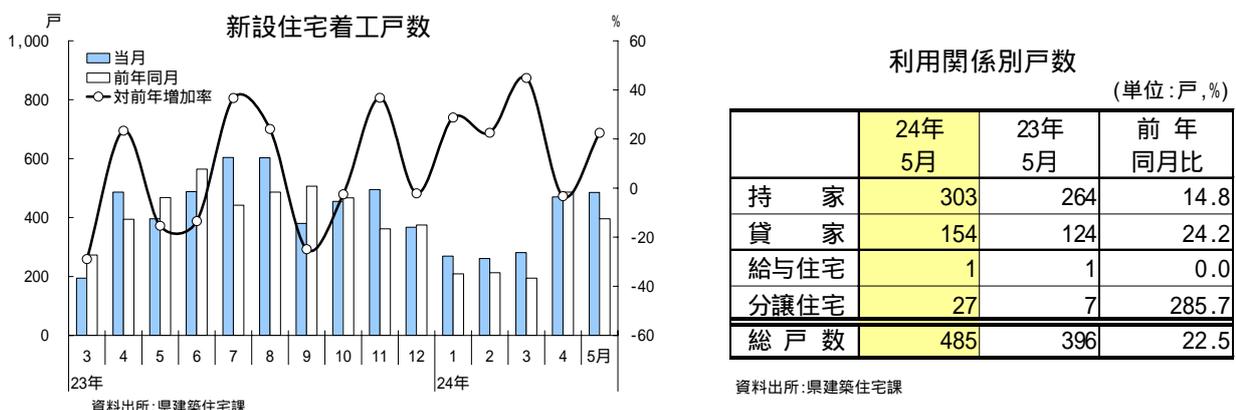


住宅着工

前年同月比25.5%増、1~5月累計では前年、前々年を上回る

5月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比22.5%増の485戸と再びプラスに転じた。利用関係別では、持家が同14.8%増、貸家が同24.2%増、分譲住宅が同285.7%増となった。地域別にみると、青森市、十和田市、三沢市、平川市で減少したものの、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、むつ市、つがる市、郡部で増加した。持家は青森市、十和田市などで減少したものの、弘前市、八戸市、郡部などで増加した。貸家は青森市、三沢市などで減少したものの、八戸市、郡部で大幅に増加した。分譲住宅は青森市、八戸市、五所川原市などで増加した。

県内の住宅着工戸数は、平成24年1~5月の累計で1,766戸となった。同期比では前年(1,498戸)、前々年(1,506戸)を上回っており、堅調に推移している。



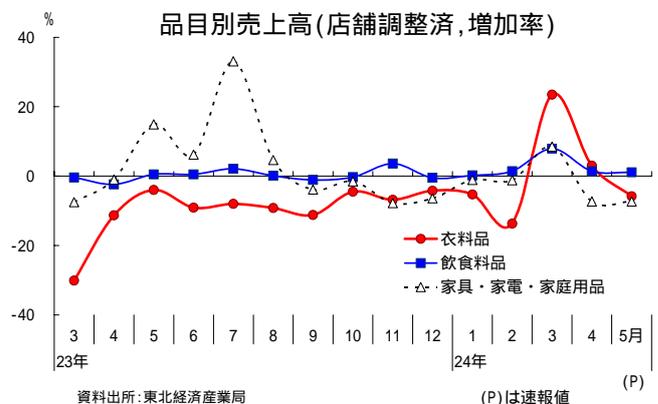
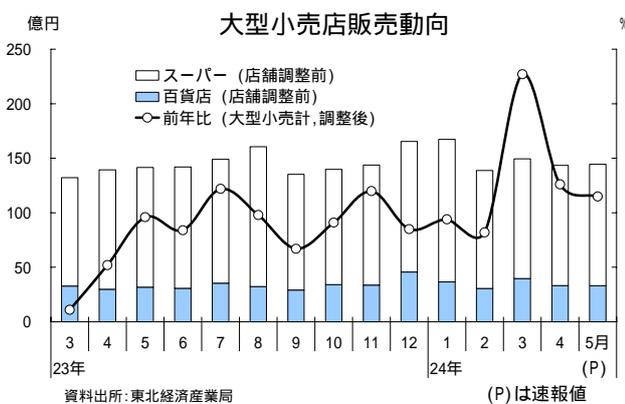
三次産業

大型小売店販売

前年同月比 1.5%増、3ヶ月連続のプラス

5月の県内大型小売店販売額は、前年同月比 1.5%増(速報ベース、店舗調整後)と3ヶ月連続のプラスとなった。業態別では百貨店が同 4.1%増と3ヶ月連続のプラス、スーパーは同 0.7%増と8ヶ月連続のプラスとなった。品目別では、ウエートの高い飲食料品が同 1.1%増、身の回り品が同 19.5%増となった。一方、衣料品は同 5.8%減、家具・家電・家庭用品は同 7.3%減となった。

飲食料品は土産品、菓子類などが好調であった。身の回り品は旅行用品、服飾雑貨などが好調であった。衣料品は紳士服で動きがみられたものの、婦人・子供服などは低調であった。家具・家電・家庭用品は、家電製品の落ち込みが目立った。

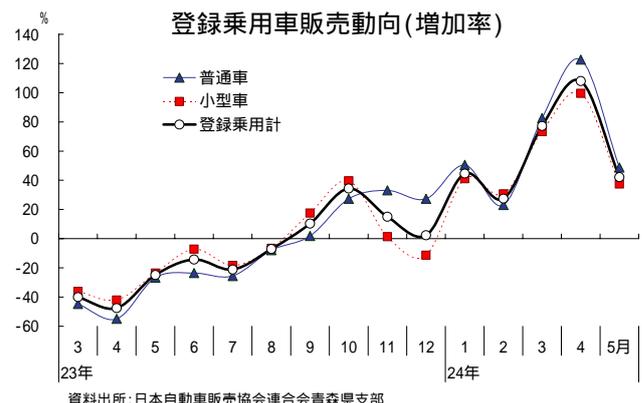
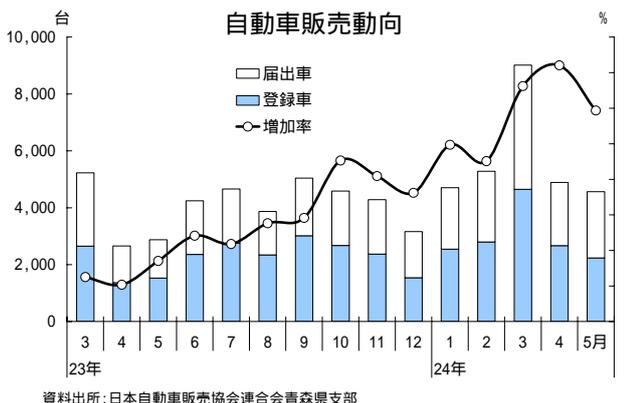


自動車販売

県内の自動車販売、8ヶ月連続のプラス

5月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 58.7%増の 4,567 台と8ヶ月連続のプラスとなった。内訳にみると、登録車は普通乗用車が同 48.8%増、小型乗用車が同 37.4%増、貨物車が同 66.1%増となり、登録車合計では同 45.9%増と9ヶ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車が同 87.5%増、貨物車が同 39.9%増となり、届出車合計では同 73.2%増と8ヶ月連続のプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 42.1%増となり、全体では同 60.6%増と9ヶ月連続のプラスとなった。

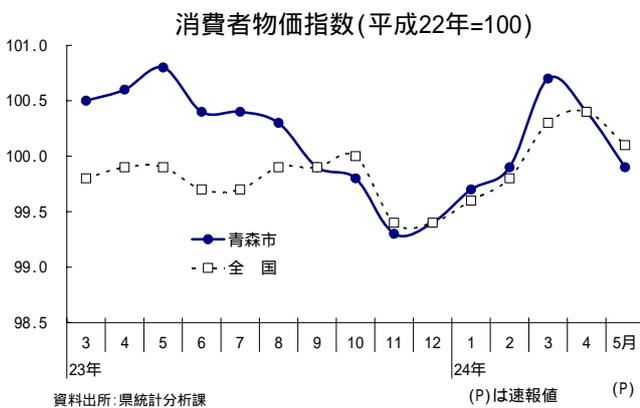
県内の自動車販売は、エコカー補助金・減税効果により乗用車が好調に推移しているほか、貨物車も前年度月比2ケタの伸びが続いている。



消費者物価指数

前月比 0.4%下落、前年同月比 0.8%下落の 99.9

5月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100、速報値)は99.9となり、前月比0.4%下落、前年同月比0.8%下落となった。主要費目別に前月と比べると、「食料」が生鮮果物、生鮮魚介などの値下がりにより1.5%下落、「交通・通信」がガソリンなど自動車関係費の値下がりにより0.8%下落した。一方、「被服及び履物」は衣類、シャツ・セーター類などの値上がりにより0.9%上昇した。前年同月との比較では、「家具・家事用品」(4.5%)、「教養娯楽」(4.2%)、「住居」(1.5%)などの変動が大きかった。なお、「生鮮食品を除く総合指数」は100.0となり、前月比0.2%下落、前年同月比1.1%下落となった。



費目別指数の動き(平成24年5月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.9	0.4	0.8
食料	98.7	1.5	0.1
住居	98.1	0.1	1.5
光熱・水道	109.9	0.2	0.9
家具・家事用品	94.7	0.7	4.5
被服及び履物	102.6	0.9	1.3
保健医療	99.3	0.6	0.8
交通・通信	102.6	0.8	0.3
教育	96.7	0.4	0.0
教養娯楽	93.5	0.8	4.2
諸雑費	103.5	0.1	1.0

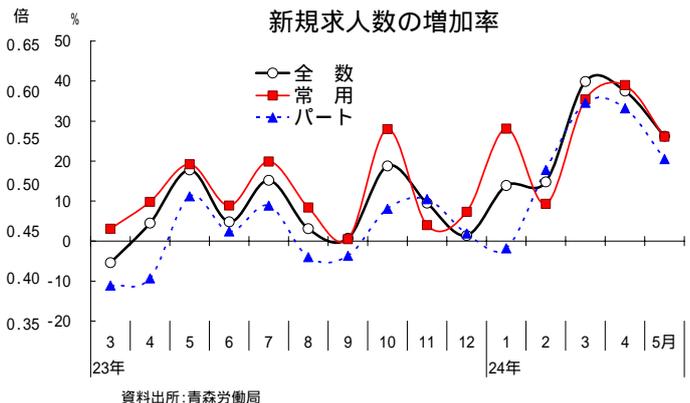
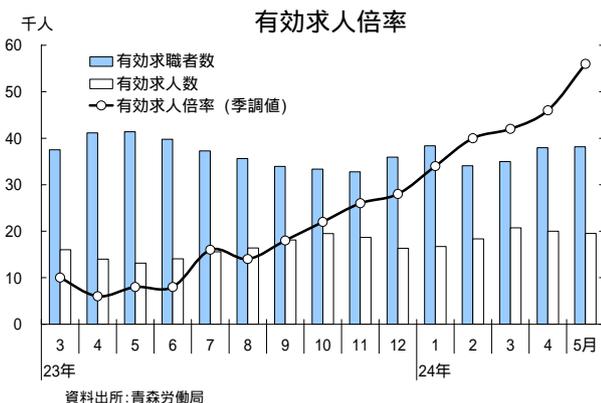
資料出所: 県統計分析課

雇用動向

有効求人倍率、0.05ポイント上昇の0.63倍

5月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比48.4%増の1万9,512人、有効求職者数は同7.8%減の3万8,162人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.05ポイント上昇の0.63倍となった。有効求人倍率が0.60倍を超えたのは平成3年12月以来、約20年ぶりである。全国平均の0.81倍を下回っているものの、9ヶ月連続で上昇し、全国順位は41位となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比26.1%増、臨時・季節求人数が同49.1%増、パート求人数が同20.5%増となり、全数では同26.2%増となった。主要産業別の新規求人動向では、建設業、卸売業、宿泊業など幅広い業種で前年同月比増加した。

県内の雇用情勢は、求人が増加する一方で求職者の減少が続いており、全体に改善の動きがうかがわれる。



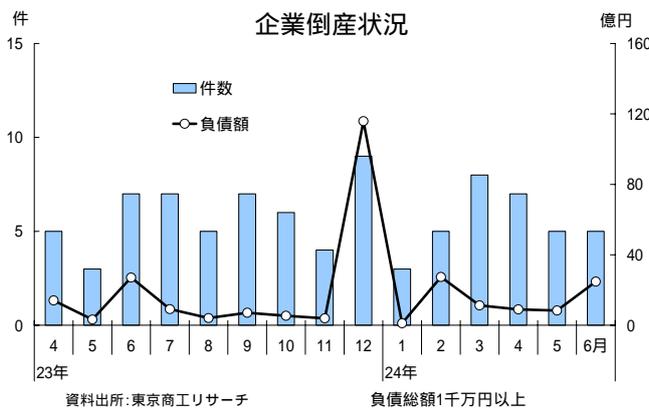
企業倒産

大口倒産発生、負債総額 24 億 8 千万円

6月の県内企業倒産は、件数が前年同月比2件減の5件、負債総額が同2億2,700万円減の24億8,000万円となった。前月比では件数が横バイ、負債総額は16億3,700万円増となった。

倒産の内訳をみると、業種別では建設業が2件、製造業、小売業、不動産業が各1件となった。地域別では青森市が2件、八戸市、五所川原市、北津軽郡が各1件となった。倒産要因は販売不振が3件、過小資本、他社倒産の余波が各1件となった。

県内の企業倒産は、件数が引き続き1ケタ台にとどまったものの、建設業で10億円以上の大口倒産が1件発生し、負債総額を押し上げた。



業種別・原因別件数 (平成24年6月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業	2	過小資本	1
製造業	1	他社倒産の余波	1
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業	1	信用低下	
不動産業	1	販売不振	3
運輸・通信業		売掛金回収難	
サービス業ほか		在庫状況悪化	
合計	5	設備投資過大	
		その他	
		合計	5

資料出所: 東京商工リサーチ
(負債総額1千万円以上)

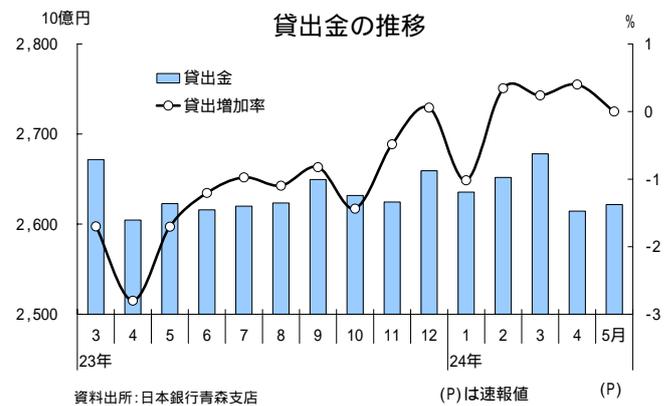
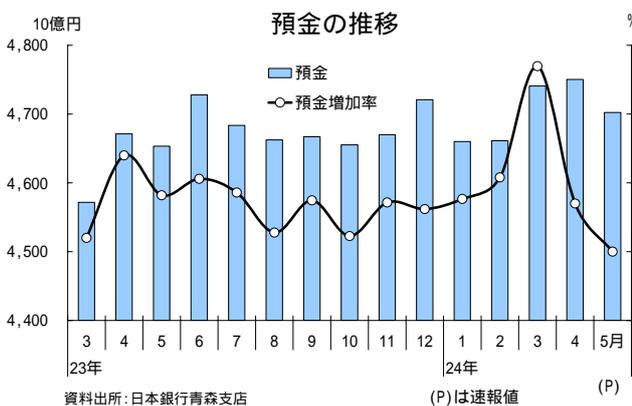
金融動向

貸出金、4ヶ月ぶりのマイナス

5月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.0%増の4兆7,023億円、貸出金は同0.03%減の2兆6,218億円となった。

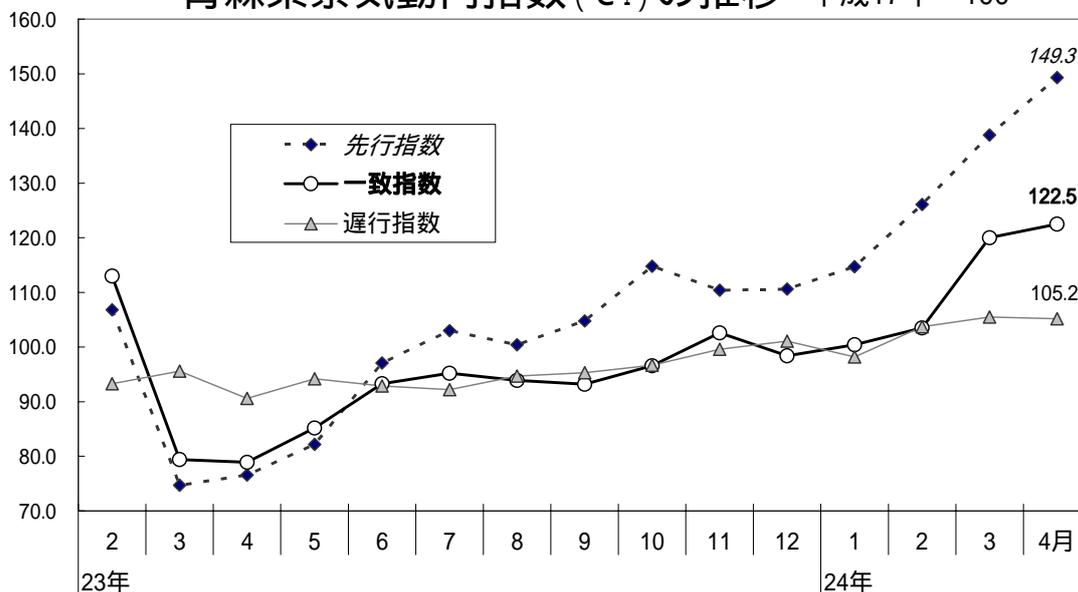
預金は個人預金、法人預金、公金預金ともにプラス幅が縮小し、預金全体のプラス幅は前月比0.7ポイント縮小した。

一方、貸出金は個人向けのマイナス幅が拡大したものの、一般法人向けのマイナス幅が拡大したほか、地公体向けのプラス幅が縮小した。この結果、貸出金全体では4ヶ月ぶりにマイナスに転じた。



青森県景気動向指数

青森県景気動向指数 (CI) の推移 平成17年 = 100



資料出所: 県統計分析課

一致指数 採用系列(上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表示
下段: 寄与度)

採用系列名	23年 11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月
1. 大型小売店販売額(既存店)	0.92	1.14	0.29	0.39	3.79	1.77
2. 旅行取扱高	0.61	0.13	0.36	1.07	4.49	3.06
3. 鉱工業生産指数	1.97	1.24	1.18	2.01	0.02	0.28
4. 大口電力使用量	0.79	1.45	1.36	1.26	1.53	0.78
5. 有効求人倍率(全数)	1.15	0.54	1.66	1.69	0.53	1.30
6. 輸入通関実績(八戸港)	0.93	1.69	0.02	0.01	2.01	2.62
7. 東北自動車道IC利用台数	0.30	0.91	0.20	0.44	4.22	2.20

資料出所: 県統計分析課

景気動向指数 (CI : Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を 100 として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CI には次の 3 指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CI は景気変動の大きさ (景気の山の高さや谷の深さ) やテンポ (景気の拡張や後退の勢い) を測定する。CI が上昇している時が景気の拡張期 (好況) であり、低下している時が景気の後退期 (不況) である。

国内景気

概況

国内景気は依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつある。個人消費は緩やかに増加している。生産は緩やかに持ち直している。輸出は持ち直しの動きがみられる。企業収益は持ち直している。設備投資は緩やかに持ち直している。住宅建設は持ち直している。雇用情勢は持ち直しているものの、震災の影響もあり依然として厳しい。

大型小売店販売（既存店ベース）

- 2ヶ月連続のマイナス -

5月の大型小売店販売は前年同月比0.9%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同0.9%減、スーパーが同0.8%減となった。商品別にみると、飲衣料品が同1.0%減、食料品が同0.7%減、その他商品が同1.0%減となった。

住宅建設

- 4ヶ月連続のプラス -

5月の新設住宅着工戸数は前年同月比9.3%増の6万9,638戸と4ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同8.2%増と2ヶ月連続、貸家が同15.3%増と5ヶ月連続、分譲住宅が同4.4%増と4ヶ月連続のそれぞれプラスとなった。

企業倒産

- 倒産件数、3ヶ月ぶりに前年同月を上回る -

5月の企業倒産は、件数が前年同月比7.2%増の1,148件、負債総額は同11.8%増の2,826億円となった。倒産件数は3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。負債総額は再び前年同月を上回ったものの、5千万円未満の小規模倒産が半数以上を占め、2ヶ月連続で3,000億円を下回った。

為替動向

- 6月末終値、79円60銭 -

5月の東京為替市場は78円半ばでスタート。上旬から中旬にかけてはEUのスペインへの支援問題、日銀の金融政策現状維持などがみられたが、為替相場は79円を挟んだ比較的狭いレンジで推移した。下旬は世界景気の減速懸念などからドルが全面高となり、80円台まで円安が進行したが、月末にかけては輸出企業の円買いなどから反発。月末終値は79円60銭。

鉱工業生産指数

- 前月比3.1%低下の92.4 -

5月の鉱工業生産指数は前月比3.1%低下の92.4(季節調整値)となった。低下に寄与したのは輸送機械工業、化学工業(除.医薬品)等であった。品目別では普通乗用車、普通トラック、小型乗用車等であった。なお、生産予測調査によると、6月は電子部品・デバイス工業、一般機械工業等の上昇により当月比2.7%上昇を予測。

新車販売（除く軽自動車）

前年同月比40.9%増、10ヶ月連続プラス

6月の国内新車販売は前年同月比40.9%増の31万7,152台と10ヶ月連続のプラスとなった。内訳別では、乗用車が同39.8%増、貨物車が同51.3%増となった。乗用車は普通乗用車が同36.0%増と9ヶ月連続のプラス、小型乗用車が同43.2%増と10ヶ月連続のプラスとなった。

完全失業率

前月比0.2ポイント低下

5月の完全失業率は前月比0.2ポイント低下の4.4%となった。完全失業者数は前年同月比17万人減の297万人となった。求職理由別にみると、自己都合が同2万人減の101万人、リストラ等勤め先都合が同12万人減の71万人などとなった。

消費者物価指数

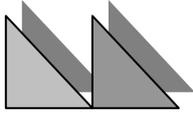
- 前月比0.3%下落の100.1 -

5月の全国消費者物価指数(2010年=100)は100.1となり、前月比0.3%下落、前年同月比0.2%上昇した。前月に比べ食料、交通・通信、教養娯楽などが下落した。生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前月比0.2%下落、前年同月比0.1%下落した。

国際収支

- 経常収支、黒字幅が大幅縮小 -

5月の経常収支額は黒字幅が大幅に縮小し、前年同月比62.6%減の2,151億円となった。貿易収支、サービス収支、経常移転収支の赤字幅が拡大したほか、所得収支の黒字幅が縮小した。内訳は、所得収支が1兆2,737億円の黒字となった。一方、貿易収支は8,482億円、サービス収支は928億円、経常移転収支は1,176億円のそれぞれ赤字となった。

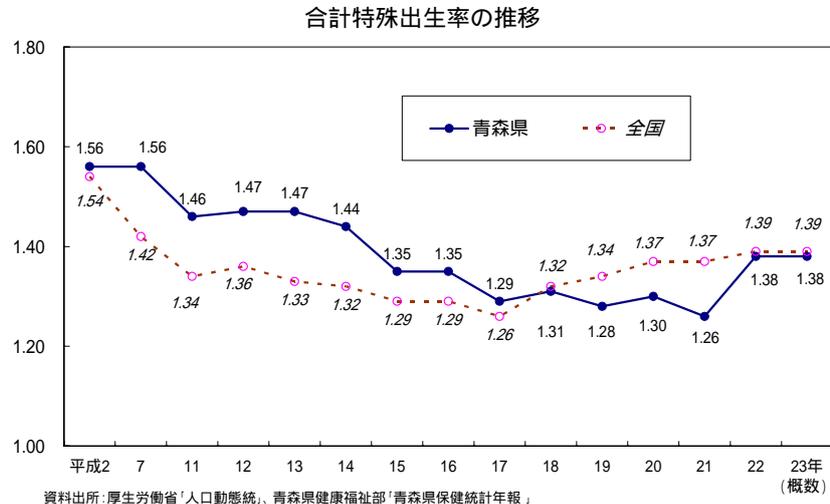


今月の統計

合計特殊出生率の推移

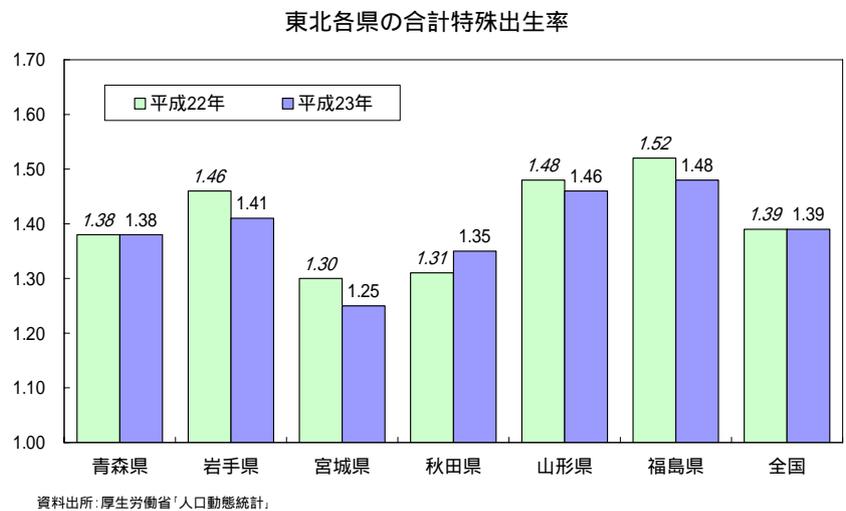
厚生労働省の発表によると、平成 23 年の全国平均の合計特殊出生率(概数値)は 1.39、青森県は 1.38 となり、ともに前年比横バイとなった。合計特殊出生率の推移をみると、平成 2 年には全国平均が 1.54、青森県が 1.56 であったが、以降低下傾向が続いた。全国平均は平成 17 年に 1.26 と過去

最低となったが、平成 18 年は上昇に転じている。青森県は平成 21 年に 1.26 と過去最低となったが、22 年は 0.12 ポイント上昇した。なお、平成 22 年は平成 21 年国勢調査による人口で算出しており、46 道府県で合計特殊出生率の上昇がみられた。



平成 23 年の東北各県の合計特殊出生率をみると、トップが福島県の 1.48(前年比 0.04)、次いで山形県の 1.46(同 0.02)、岩手県の 1.41(同 0.05)、青森県の 1.38(同 ± 0)、秋田県の 1.35(同 + 0.04)、宮城県の 1.25(同 0.05)の順となった。

平成 22 年と比べると、合計特殊出生率が上昇したのは秋田県のみで、4 県が低下、青森県は横バイとなった。全国平均の 1.39 と比べると、岩手県、山形県、福島県が上回っているものの、青森県、宮城県、秋田県は下回っている。



合計特殊出生率・・・一人の女性が生涯に産むと推定される子どもの数であり、その年における女性の年齢別出生率を合計した値である。年齢構造の影響を除いた出生率であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

県内経済

5日 2011年の合計特殊出生率、前年比横バイの1.38

厚生労働省が発表した2011年の人口動態統計(概数)によると、本県の合計特殊出生率(女性1人が生涯に産む子どもの推定人数)は前年比横バイの1.38となった。出生数は同180人減の9,531人と3年連続で1万人を割り込んだ。一方、自殺による死亡者数は同47人減の356人となり、14年ぶりに400人を割り込んだ。

14日 ホタテガイの稚貝、前年比9倍増

県産業技術センター水産総合研究所が発表した第1回ホタテガイ全湾付着稚貝調査結果(6月11日実施)によると、採苗器1袋当たりの平均稚貝付着数は全湾で6万3,997個となった。高水温の影響で激減した2010年の7,210個に比べ約9倍増加した。

21日 5月の八戸港貿易額、輸出・輸入とも大幅増

八戸税関支署が発表した八戸港の5月の外国貿易概況(速報値)によると、輸出額は前年同月比約4.6倍の105億4,264億円、輸入額は同約2倍の205億1,981万円となり、震災の影響で落ち込んだ前年に比べ大幅に増加した。

28日 2011年度の本県への戸別所得補償、159億5千万円

農林水産省が発表した戸別所得補償制度の支払実績によると、2011年度は件数が前年度比1万2,931件減の115万159件、支払額は同408億円増の5,366億円となった。うち、青森県への支払実績は件数が2万8,638件、支払額は159億5千万円となった。

2011年度県森林組合連合会の木材取扱量、32万7千立方メートル

県森林組合連合会の発表によると、同連合会の2011年度木材取扱量は32万7千立方メートルとなった。前年度比4万2千立方メートル増加し、1941年の設立以来最多となった。

国内経済

8日 がん予防、2022年度までに喫煙率12%に引下げ

政府は肺がんなどを予防するため、喫煙率の数値目標を掲げた「がん対策推進基本計画」を閣議決定した。成人の喫煙率を2010年現在の19.5%から2022年度までに12%に引き下げるとしている。

2012年1-3月期のGDP、年率換算4.7%増に上方修正

内閣府が発表した2012年1-3月期の国内総生産(GDP)改定値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比1.2%増、年率換算で4.7%増となった。速報値から実質で0.2ポイント、年率換算で0.6ポイント上方修正された。

18日 2012年1-3月の旅行者消費額、前年、前々年同期を上回る

観光庁がまとめた2012年1-3月期(速報)の旅行・観光消費動向調査によると、旅行者の消費額は国内宿泊旅行が3兆5,289億円、国内日帰り旅行が1兆1,254億円となり、それぞれ前年及び前々年同期を上回った。

20日 3ヶ月連続の貿易赤字

財務省が発表した5月の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は9,073億円の赤字となった。赤字は3ヶ月連続で、比較可能な1979年以降3番目の赤字額となった。

22日 6月の月例報告、基調判断を据え置き

政府は6月の月例経済報告で、景気の基調判断を「依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある」とし、前月の判断を据え置いた。一方、世界経済については「減速感が広がっており弱い回復となっている」と下方修正した。

26日 消費税引き上げ法案、衆議院で可決

消費税引き上げを柱とする社会保障と税の一体改革関連法案が衆議院本会議で可決され、参議院に送付された。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券 平均発行高 (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2005年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2006(H18)	744,033	528,667	415,577	1.766	13,245	55,006	104.3	1,290,391	95,710	211,450
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	107.4	1,060,741	92,265	211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	103.8	1,093,519	95,815	209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	81.1	788,410	98,966	197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	94.4	813,126	87,316	195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.437	12,734	35,929	92.2	834,117	86,657	195,933
2011(H23) 3	796,912	597,558	425,151	1.519	1,183	2,702	82.5	63,419	12,814	15,117
4	799,807	596,184	420,721	1.521	1,076	2,796	84.5	66,757	3,069	15,646
5	794,811	595,732	419,674	1.512	1,071	2,527	89.4	63,726	3,599	15,774
6	785,057	596,031	419,060	1.508	1,165	2,164	92.8	72,687	6,543	16,033
7	791,240	589,939	419,580	1.501	1,081	2,209	93.8	83,398	7,011	17,843
8	789,717	590,572	418,217	1.496	1,026	7,940	94.6	81,986	7,751	15,574
9	788,044	594,121	424,064	1.473	1,001	2,123	92.8	64,206	11,141	14,728
10	787,220	591,365	420,682	1.474	976	1,559	94.5	67,273	9,364	16,057
11	789,721	596,515	420,770	1.469	1,095	1,877	92.9	72,635	6,746	16,370
12	815,720	598,668	425,858	1.452	1,032	3,567	95.0	69,069	7,717	20,910
2012(H24) 1	812,462	596,371	422,359	1.452	985	3,494	95.9	65,984	5,725	17,383
2	798,710	597,558	423,739	1.442	1,038	6,313	94.4	66,928	7,694	14,659
3	804,460	611,205	430,289	1.428	1,161	3,339	95.6	66,597	14,373	16,032
4	806,725	607,936	425,590	1.424	1,004	2,290	95.4	73,647	3,996	15,664
5	807,450			1.421	1,148	2,826	P 92.4	69,638		P 15,746
前月比 %	0.1	-0.5	-1.1	-0.003% 引	14.3	23.4	-3.1	-5.4	-72.2	0.9
前年同月比%	1.6	2.0	1.2	-0.091% 引	7.2	11.8	6.2	9.3	30.2	-0.9
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2005年 = 100	消費者 物価指数 2010年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2005年 = 100	完全 失業率 (季調済) (%)	東証1部 平均株価 (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年未末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月中平均) (円 / US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2006(H18)	4,642	102.2	100.7	-	4.1	16,117.45	198,488	895,320	116.31	158.921
2007(H19)	4,400	104.0	100.7	-	3.8	16,990.46	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	108.7	102.1	-	4.0	12,142.80	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	103.0	100.7	-	5.1	9,331.18	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	102.9	100.0	-	5.1	10,009.71	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	105.0	99.7	-	4.5	9,439.32	96,289	1,295,841	79.76	165.195
2011(H23) 3	364	104.7	99.8	87.4	4.7	9,852.45	17,386	1,116,025	81.79	178.951
4	154	105.6	99.9	87.8	4.7	9,644.63	4,124	1,135,549	83.35	180.965
5	200	105.5	99.9	90.0	4.6	9,650.78	5,859	1,139,524	81.23	179.801
6	295	105.5	99.7	92.2	4.6	9,541.53	5,389	1,137,809	80.51	178.005
7	313	105.7	99.7	92.7	4.6	9,996.68	10,537	1,150,877	79.47	177.515
8	273	105.5	99.9	92.8	4.4	9,072.94	4,363	1,218,501	77.22	174.503
9	392	105.4	99.9	92.4	4.2	8,695.42	16,107	1,200,593	76.84	168.897
10	321	104.6	100.0	93.3	4.4	8,733.56	5,339	1,209,882	76.77	169.095
11	324	104.6	99.4	92.4	4.5	8,506.11	1,261	1,304,763	77.54	166.651
12	290	104.6	99.4	94.6	4.5	8,505.99	2,657	1,295,840	77.85	165.195
2012(H24) 1	359	104.5	99.6	94.7	4.6	8,616.71	-4,556	1,306,668	76.97	169.100
2	449	104.7	99.8	95.7	4.5	9,242.33	12,026	1,302,877	78.45	171.372
3	641	105.2	100.3	97.3	4.5	9,962.35	13,074	1,288,703	82.43	173.106
4	306	105.4	100.4	97.0	4.6	9,627.42	P 3,338	1,289,542	81.49	172.526
5	338	P 105.0	100.1	P 95.8	P 4.4	8,842.54	P 2,151	1,277,716	79.70	166.968
前月比 %	10.4	-0.4	-0.3	-1.2% 引	-0.2% 引	-8.2	-	-0.9	-2.2	-3.2
前年同月比%	69.1	-0.5	0.2	-	-0.2% 引	-8.4	-62.6	12.1	-1.9	-7.1
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省		日本銀行	日経新聞社

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2006(H18)	1,434,936	-9,224	-372	43,241	27,627	119	34,015	768,362	1,499
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2011(H23) 4	1,365,932	-319	5	46,711	26,045	5	1,412	30,146	113
5	1,365,013	146	229	46,535	26,227	3	330	45,171	86
6	1,364,631	27	-138	47,278	26,159	7	2,707	36,895	33
7	1,364,252	61	-3	46,835	26,199	7	917	29,686	4
8	1,363,895	146	-76	46,625	26,234	5	409	47,848	123
9	1,363,591	-110	-49	46,671	26,494	7	713	41,548	65
10	1,363,038	35	-130	46,551	26,318	6	536	41,005	16
11	1,362,455	-48	-101	46,701	26,246	4	393	39,264	9
12	1,361,835	-56	-536	47,209	26,593	9	11,591	36,838	2
2012(H24) 1	1,361,053	-236	341	46,601	26,355	3	114	47,397	40
2	1,360,012	-320	-125	46,614	26,517	5	2,741	40,687	43
3	1,358,799	-4,869	-110	47,408	26,781	8	1,124	34,744	15
4	1,353,174	202	-185	47,504	26,145	7	906	44,482	49
5	1,352,715	-34	111	P 47,023	P 26,218	5	843	50,572	119
6	1,352,007		-218			5	2,480		
前月比 %	-0.1	-	-	-1.0	0.3	0.0	194.2	13.7	140.7
前年同月比%	-0.9	-	-	1.0	-0.0	-28.6	-8.4	12.0	37.6
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計
手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2006(H18)	104.2	7,574	4,316	2,760	840	187,569	68,377	0.65	0.44
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	88.1	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.4	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	97.1	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2011(H23) 4	81.7	486	292	179	50	30,680	5,347	0.64	0.38
5	86.3	396	264	124	42	11,967	2,442	0.66	0.39
6	101.9	488	323	143	55	14,383	4,097	0.64	0.39
7	98.8	604	394	186	66	16,851	4,657	0.76	0.43
8	102.2	603	405	173	67	17,237	6,482	0.66	0.42
9	97.9	380	257	104	43	20,926	11,129	0.70	0.44
10	100.1	455	264	152	47	16,390	5,628	0.82	0.46
11	109.2	495	286	187	49	12,413	3,819	0.76	0.48
12	103.4	367	218	121	37	8,296	2,988	0.82	0.49
2012(H24) 1	98.1	269	104	146	23	5,887	2,211	0.80	0.52
2	108.0	261	95	82	25	6,416	1,094	0.94	0.55
3	107.9	281	157	99	29	21,196	4,647	0.80	0.56
4	P 109.0	470	293	144	50	43,499	6,392	0.95	0.58
5		485	303	154	51	9,908	1,598	0.93	0.63
前月比 %	1.0	3.2	3.4	6.9	1.5	-77.2	-75.0	-0.02% イト	0.05% イト
前年同月比%	34.2	22.5	14.8	24.2	21.3	-17.2	-34.6	0.27% イト	0.24% イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2006(H18)	175,587	30,755	46,385	100.3	299,079	-	21,959	-	-
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	100.0	286,305	-	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,425	-	-
2011(H23) 4	13,930	1,368	2,028	100.6	338,765	9,657	1,066	14.6	} -23.5
5	14,163	1,529	2,315	100.8	290,345	11,654	1,376	-	
6	14,199	2,360	3,457	100.4	265,637	11,157	1,300	-	
7	14,901	2,759	3,772	100.4	251,128	10,772	1,110	54.2	} -21.6
8	16,064	2,343	3,005	100.3	271,407	11,379	1,285	-	
9	13,526	3,013	4,051	99.9	257,983	9,235	1,060	-	
10	13,981	2,674	3,697	99.8	286,807	8,401	865	49.0	} -8.9
11	14,384	2,367	3,222	99.3	275,235	8,001	901	-	
12	16,538	1,540	2,387	99.4	322,771	8,350	913	-	
2012(H24) 1	16,733	2,545	3,797	99.7	283,991	14,796	2,297	49.5	} 6.4
2	13,882	2,797	4,263	99.9	249,716	9,778	1,250	-	
3	14,954	4,650	7,206	100.7	296,413	8,332	1,016	-	
4	14,352	2,667	4,036	100.4	302,171	8,293	948	47.8	
5	P 14,456	2,231	3,717	99.9	272,272	10,179	1,288	-	
前月(期)比%	-	-16.3	-7.9	-0.4	-9.9	22.7	35.8	-1.7ポイント	15.3ポイント
前年同月(期)比%	1.5	45.9	60.6	-0.8	-6.2	-12.7	-6.5	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2006(H18)	294,887	288	173	166,437	24,155	12,033	79,281	101,020	143,467
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)			214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2011(H23) 4	32,374	227	158	1,021	370	832	5,130	1,079	4,281
5	25,279	265	-	3,336	687	862	887	2,312	5,137
6	20,409	274	-	2,034	331	864	2,659	7,684	9,171
7	14,206	291	-	8,045	1,160	1,570	3,611	15,232	7,684
8	5,560	314	-	16,341	3,190	946	1,613	8,173	8,795
9	20,807	240	146	19,716	2,920	508	1,664	7,053	15,092
10	21,286	305	219	20,160	3,260	572	2,566	16,085	10,943
11	20,215	327	214	25,544	3,407	593	2,118	11,879	9,221
12	23,092	360	220	11,237	2,080	260	2,048	6,742	11,143
2012(H24) 1	26,530	346	227	4,524	1,059	556	2,029	7,514	8,034
2	25,365	351	256	3,370	733	511	2,826	8,681	10,499
3	23,252	375	270	3,449	935	261	4,260	17,741	10,449
4	18,898	391	297	1,386	369	548	2,474	8,059	10,639
5	16,413	413	-	4,619	1,028	615	3,550	10,543	10,520
前月比 %	-13.1	5.6	-	233.3	-60.6	12.2	43.5	30.8	-1.1
前年同月比%	-35.1	55.8	-	38.5	49.5	-28.7	300.2	356.0	104.8
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			パスポート 発行件数
	気温 (℃)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2011(H23)	10.6	1,570.5	1,541.9	16,435
2011(H23) 4	8.3	99.0	157.1	839
5	12.4	76.5	158.7	953
6	18.2	92.0	174.1	1,217
7	22.9	52.0	166.8	1,174
8	24.2	112.0	197.5	1,736
9	20.4	345.0	131.2	1,493
10	13.3	96.5	150.9	1,798
11	8.1	148.5	91.2	1,554
12	0.0	211.0	31.5	1,398
2012(H24) 1	-2.6	143.0	47.2	1,847
2	-2.5	114.5	65.2	1,512
3	1.8	101.5	101.0	1,493
4	7.2	70.0	182.4	1,521
5	13.5	58.5	181.0	1,590
前月比 %	6.3	-11.5ml	-1.4h	4.5
前年同月比 %	1.1	-18.0ml	22.3h	66.8
資料出所	気象庁			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2010 (H22)			
1~3月	-31.6	-12.8	-35.8
4~6月	-42.6	-23.8	-32.1
7~9月	-34.5	-17.4	-8.5
10~12月	-22.6	-34.1	-9.1
2011 (H23)			
1~3月	-20.7	-31.6	-33.3
4~6月	-10.3	-33.3	-30.4
7~9月	-12.0	-43.6	-15.3
10~12月	2.5	-25.0	-6.3
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	8.5	-8.8	-3.5
資料出所	青森銀行BSI('12.4~6月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2011(H23) 4	298,359	182,270	236,658	357	136	363	145	46	129
5	298,304	182,630	236,507	391	159	361	121	33	99
6	298,211	182,637	236,525	540	286	540	117	76	129
7	298,191	182,563	236,583	735	282	596	147	75	124
8	298,271	182,555	236,613	567	246	513	146	59	147
9	298,140	182,619	236,588	789	336	629	70	44	71
10	298,033	182,532	236,535	681	300	596	117	69	101
11	297,929	182,524	236,483	546	239	572	88	73	104
12	297,762	182,503	236,494	400	174	338	72	49	128
2012(24) 1	297,618	182,487	236,434	563	379	571	49	33	55
2	297,348	182,339	236,390	671	304	617	37	80	88
3	297,074	182,157	236,339	1,298	560	873	58	41	56
4	296,012	180,917	235,464	605	288	645	128	67	121
5	296,247	181,543	235,444	580	212	520	101	55	136
6	296,154	181,524	235,405						
前月比 %	-0.0	-0.0	-0.0	-4.1	-26.4	-19.4	-21.1	-17.9	12.4
前年同月比 %	-0.7	-0.6	-0.5	48.3	33.3	44.0	-16.5	66.7	37.4
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企 業 倒 産						
	青森市	弘前市	八戸市	青森市		弘前市		八戸市		
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2011(H23) 4	0.31	0.30	0.32	1	126	0	0	0	0	0
5	0.30	0.27	0.34	0	0	1	30	0	0	0
6	0.32	0.26	0.39	2	1,540	2	1,025	1	91	91
7	0.36	0.32	0.49	3	367	1	200	0	0	0
8	0.39	0.39	0.54	1	56	2	230	1	53	53
9	0.43	0.48	0.55	2	167	3	428	2	118	118
10	0.45	0.49	0.65	2	242	3	194	0	0	0
11	0.42	0.41	0.67	1	40	1	150	1	47	47
12	0.32	0.31	0.56	2	1,400	1	18	0	0	0
2012(H24) 1	0.32	0.30	0.48	1	46	0	0	1	48	48
2	0.47	0.36	0.57	0	0	0	0	2	2,015	2,015
3	0.52	0.43	0.61	2	98	2	350	1	170	170
4	0.44	0.45	0.59	1	240	1	127	1	150	150
5	0.42	0.43	0.61	4	693	0	0	0	0	0
6				2	240	0	0	1	340	340
前月比 %	-0.02 ポイント	-0.02 ポイント	0.02 ポイント	-50.0	-65.4	-	-	-	-	-
前年同月比 %	0.12 ポイント	0.16 ポイント	0.27 ポイント	0.0	-84.4	-100.0	-100.0	0.0	273.6	273.6
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店						

有効求人倍率は原数値による